



## 里海学びの講座②

### 「川と海のつながり」開催しました！



- 日時 平成30年5月25日(金) 18:30～20:30
- 会場 香川大学研究交流棟6F 第一講義室
- 講師 香川大学創造工学部准教授 石塚正秀氏

5月25日に、香川大学研究交流棟第一講義室にて、里海学びの講座②を開催しました。

今回は香川大学創造工学部准教授の石塚正秀氏により、「川と海のつながり」をテーマに講義が行なわれました。

講義ではまず、「川はどのような存在ですか？」と問いかけがあり、受講者がもつ川の思い出についてペアワークが行われました。さらに、身近な川や知っている川がどんなものか思い浮かべ、川にはいったいどんな役割があって、どんなものが流れているのかを皆で意見を交わし考えました。

川は多くの物質を運んでいて、大雨のときなどには非常に多くの物質が海に流れ込むとの話がありました。それらの物質はCODやBODなどの有機物や、窒素やリンといった栄養塩があり、海の生き物が生息するために必要なものがあります。高度経済成長期のころは海に流れ込む物質の負荷が増加して、瀬戸内海でも赤潮などの漁業被害も出ていましたが、近年では法律による対策の効果も出て、改善されていると解説がありました。しかし、それらの栄養塩も少なすぎてもいけないもので、ノリの色落ちは栄養塩が少ないことが原因といわれています。

「経済的な発展」と「環境の保全」はどちらも大切ですが、将来に渡って持続可能な発展をするために、どちらか一方だけではなく、時代に応じてバランスを考慮しながら対策をとることも大切であるとお話がありました。